

第6回おおたオープンファクトリー実施レポート@くりらぼ多摩川

昨年11月から12月にかけて開催された年に一度の町工場公開イベントおおたオープンファクトリー。期間中、くりらぼ多摩川で実施した「くりらぼカフェ」「工場男子×工場女子」「おおたコマリンピック」をレポートします。

食 旧事務所棟 くりらぼカフェ



おおたで食に携わっている企業のご協力を頂いて、来てくださった方々にカフェメニューを提供しました。お出しするプレートにはくりらぼの焼印をあしらえ、Glass Forest さんよりお借りした蒲田切子を使用しました。来てくださった方々と交流を深められ大変有意義な時間を過ごすことのできる空間になりました。

当日のカフェメニュー

おつまみセット・・・新田浪漫(北嶋屋)/おつまみ大豆(みしまや)/のり5種・のりの佃煮(吉田商店)
スूपセット・・・サツマイモのポタージュ・ラタトゥイユ(ピストロ武蔵新田)
ケーキセット・・・マロンパイ(ボンビアン)/コーヒー(WORLD BEANS)
揚げパンセット・・・揚げパン(ラ・ヴェール)/コーヒー(WORLD BEANS)

観 旧工場棟 工場男子×工場女子



おおたの町工場で働く若い職人さんにフォーカスし、仕事の内容や将来の夢から意外なプライベートまでインタビュー内容を紹介する「工場男子×工場女子」。
当日は一人ずつのブックレットを作成し、9社16人の職人さんの姿をじっくり堪能できるようにしました。多くのみなさまに町工場の若い力を知って頂くことができました。

遊 旧工場棟 おおたコマリンピック



町工場の技術をコマという身近な遊び道具を通して体験できる「コマリンピック」を行いました。ルールは手回しで、コマがどれだけ長く回っていかれるかという、結果が一目でわかるものにしました。
コマの製作を複数の工場にいただいたため、様々な素材やデザインのコマが集まり、回し方次第でタイムもよくなるので、子供だけでなく大人の方にも楽しく町工場の技術を体験して頂くことができました。

vol. 02

2017年 7月発行

くりらぼ通信

p1-2. everyday くりらぼ | p3. 工場男子×女子 | p4. 第6回おおたオープンファクトリー実施レポート

everyday くりらぼ

2016.09~2017.03

くりらぼ多摩川では、下記「ふりかえりList」にあるように、日々いろいろな活動を行なっています。今号では、2016年9月から2017年3月までに行われたくりらぼでの活動の中から5つの活動をご紹介します。

ふりかえり List

- 9/8 フォトツアー
- 9/11 日曜くりらぼ倶楽部
- 9/25 日曜くりらぼ倶楽部
- 10/1 くりらぼ茶論
- 10/9 日曜くりらぼ倶楽部
- 10/15 くりらぼWS*『Relax→Act』
- 10/23 多摩川七福神縁日
- 10/23 日曜くりらぼ倶楽部
- 10/29 町工BAR vol.16
- 11/6 日曜くりらぼ倶楽部
- 11/10 くりらぼ茶論
- 11/20 日曜くりらぼ倶楽部
- 11/26 おおたオープンファクトリー初日
- 12/3 おおたオープンファクトリー最終日
- 12/4 日曜くりらぼ倶楽部
- 12/18 くりらぼWS*『お屠蘇づくり』
- 1/8 日曜くりらぼ倶楽部
- 1/22 日曜くりらぼ倶楽部
- 2/5 多摩川七福神縁日
- 2/12 日曜くりらぼ倶楽部
- 2/26 日曜くりらぼ倶楽部
- 3/4 くりらぼWS*『スポンジ廃材deブローチ作り』
- 3/11 町工BAR vol.17 (特別編)
- 3/12 日曜くりらぼ倶楽部
- 3/18 日曜くりらぼ倶楽部—自然工作WS
- 3/25 くりらぼWS*『スピリットキャッチャー』
- 3/26 日曜くりらぼ倶楽部

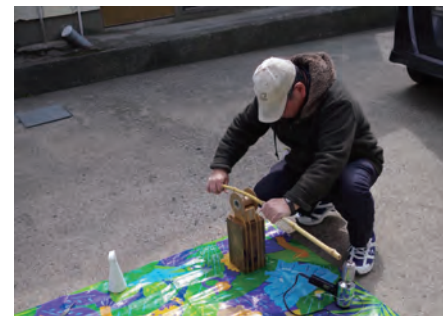
※ WS：ワークショップ



3月25日 くりらぼワークショップ 伝統楽器『スピリットキャッチャー』を作ろう！

おおたの職人さんと楽器作りに挑戦！

今回のワークショップでは、(有)いわき精機製作所の小宮祐樹さんにご協力をしていただきスピリットキャッチャーという楽器を作成しました。「スピリットキャッチャー」という言葉に耳に馴染みのない方も多いと思いますが、振り回して空気を切る振動で弦を震わせて音を鳴らす民族楽器です。SF映画を彷彿させるような不思議な音がします。製作手順の中に、竹に熱を加えて曲げるといったような難しい工程もありましたが、その分完成した時の達成感やモノづくりの楽しさを体験できました。音色も姿形も少しずつ異なる、世界に一つしかない楽器ができました。



▲ドライヤーで熱しつつ竹を曲げます。ここが一番の難関です。力が弱いと曲がらず、強すぎても折れてしまいます。焦げ方や曲がり具合が人によって異なりいい味になります。



▲使用した竹は小宮さんが山で取って研磨してくださったもので、好きなサイズや模様のものを選びます。

information

OTA
OPEN
FACTORY

第7回 おおたオープンファクトリー

11月25日(土)~12月2日(土)
開催決定！

access

くりらぼ多摩川

〒146-0093 東京都大田区矢口 1-21-6
東急多摩川線武蔵新田駅より徒歩5分(丸子幼稚園うら)

※お越しの際は公共交通機関をご利用ください。
※駐車場はございません。 ※赤い屋根が目印です！

続報を
お楽しみに！

くり
らぼ
多摩川

【くりらぼ通信】vol.02 くりらぼ通信は、創造製作所「くりらぼ多摩川」が不定期に発行する活動報告紙です。

発行日：2017年7月1日 発行元：くりらぼ多摩川 編集：横浜国立大学「おおたクリエイティブタウン研究プロジェクト」チーム 編集協力：くりらぼ多摩川・一般社団法人おおたクリエイティブタウンセンター・一般社団法人大田観光協会 公式HP：http://www.o-2.jp/lab/index.html くりらぼ多摩川 Facebook：https://www.facebook.com/kurirabo 事務局：一般社団法人 大田観光協会 〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20 大田区産業プラザ2階 TEL 03-3734-0202 FAX 03-3734-0203 MAIL info@o-2.jp

10月
29

町工BAR vol.16
モノづくりのまちで創造する



クリエイティブタウンネットワーク拡大中！

大田区内のアーティストやデザイナーの活動拠点となっている“クリエイティブベース”を運営されている伊藤悠氏（BUCKLE KOBO）、茨田禎之氏（カマタ_ブリッジ）、田中幹氏（ART FACTORY城南島）の3名で、横浜国立大学の野原先生をモデレーターに、立ち上げ経緯や現在の取り組みなどのお話をお酒を飲みながら伺いました。それぞれが工場と街の新しい関係性を目指しており、同じ大田区内での活動のとても貴重なお話でした。

3月
4

くりらぼワークショップ
スポンジ廃材 de ブローチづくり



スポンジがおしゃれブローチに大変身！

大田区にはスポンジを使った製品を作る会社もあります。大きなスポンジからくりぬいて製品を作るため、いらない部分はいつも捨てられてしまいます。そんな廃材がブローチに大変身しました！スポンジを好きな形にハサミやカッターで切り、絵の具や樹脂粘土、ボタン、毛糸などをスポンジに飾り付けます。最後に、裏にピンをつけたら完成です。作りながらの会話の中で、「ジオラマにも使えそう！」「家でもやってみたい！」など楽しいアイデアが広がりました。

12月
18

日曜くりらぼ倶楽部
お屠蘇づくりワークショップ



実はとても奥が深い、東洋医学の世界

年の暮れのくりらぼでは、漢方医の青木さんを講師にお招きしてお屠蘇づくりのワークショップが行われました。お屠蘇とは元旦に飲む漢方を漬け込んだお酒のこと。今回はお屠蘇の元の漢方「屠蘇散(とそさん)」をつくりました。まずは東洋医学について、雑学を交えつつ楽しくお勉強。普段の生活に役立つ「健康づくり」のお話がたくさん聞けました。次に各原料の特徴を聞いたり味見したりしながら漢方を調合。先生と相談しながら、自分の症状や味覚に合ったものを作りました。

3月
11

町工BAR vol.17
町工場暮らしの50年から学んだこと

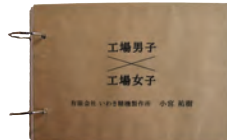


小関智弘さんが語る、大田の町工場

大田の町工場では旋盤工として働く傍ら、作品を発表し活躍されてきた小関智弘氏。働くことがすなわち生きることであった戦後から、高度経済成長期の“待ち工場”であった時代、そしてその後、平成不況下を経てコンピュータ化された中で職人が生きる現在へと移り変わってきている大田の町工場の現状を、ご自身の体験に沿ってお話いただきました。結びの「人間信頼のものづくりを！」という言葉は、くりらぼ多摩川が担うべき役割を表しているようで、非常に考えさせられる講演でした。

第2回 工場男子×女子

おおたの町工場の未来を支える若手の職人さんに、町工場で働く「職人の今」にフォーカスを当ててインタビューしました。



↑ 冊子になりました。
くりらぼ多摩川にて展示中！
(2017年6月時点)

file
3

(有) 安久工機
高田 圭 さん (33)



パソコン関係の
専門学校出身で
入社2年目です！



Q1 | お仕事はどんな内容をされていますか？

社長の手書きの図面をデジタルの図面に書き起こす作業を行っています。また、ボール盤による金属に穴を開ける加工や、商品の梱包なども担当しています。会社は設計がメインですが、旋盤加工技術も身につけたいですし、並行してシリコン等のゴムや樹脂を使った注型やコーティング等の技術も学んで行きたいと思います。

Q2 | どんどころにやりがいを感じますか？

お客様の求めているものを作れるということに、とてもやりがいを感じます。また、他の会社では出来ないことをやっていることに誇りを持っています。もともと専門でプログラムをやっていたので、コンピューターなどの分野において「自分のスキルが役に立っている！」と実感できるととても嬉しいです。技術関係のことが好きなので、困っている人を助けられるよう仕事をしていきたいと思います。

Q3 | おおたの町工場に対する思いをお聞かせください。

私が10年ぶりの新入社員というくらい若い社員はいませんが、小さい会社だからなのか若い人が少ないと感じることはないです。これから入ってくる若手は私の後輩になるので、きちんと指導ができればいいと思います。私にはまだできませんが、おおたならではの0.01mm単位の誤差しか許さない熟練の技はすごいし、ゆくゆくは私もできるようになりたいです。

file
4

(株)三陽機械製作所
緑川 玲子 さん (42)



10年ほど前に
建築関係の仕事から
転職しました！



Q1 | お仕事はどんな内容をされていますか？

パソコン上での図面設計と、機械で加工をする際のプログラムの作成を行っています。プログラムの作成には加工の技術の基礎が不可欠なので、マシニングセンターのようなプログラムが必要な機械の操作も行います。

Q2 | どんどころにやりがいを感じますか？

プログラムを作成する際は、マシニングセンターでモノを作る方法をシミュレーションし、機械のぶつかり合いなどを確認しなければならないので苦労します。その分、完成した時は達成感があります。より良い製品を作りたい気持ちが強く、夜遅くまで作業することもあります。しかし、時間には限りがあるので妥協することもあり、自分の中で葛藤が生じます。

Q3 | おおたの町工場に対する思いをお聞かせください。

実家が町工場なので、もともと町工場に抵抗はありませんでした。でも町工場は男性のイメージが強いと思うので、女性が仕事をしやすい環境にして、イメージを変えたいです。他の地域にも町工場はありますが、おおたは特別です。おおたはモノづくりがしやすい環境だし、技術的にも世界で有名です。もっともっとおおたの町工場のPRをしていきたいです。